

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/16現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

|                     |  |
|---------------------|--|
| 金融商品の名称・種類          | しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）・証券投資信託                                  |
| 組成会社（運用会社）          | しんきんアセットマネジメント投信株式会社   |
| 販売委託元               | しんきんアセットマネジメント投信株式会社   |
| 金融商品の目的・機能          | 世界の先進国・地域（日本を除く）の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 |
| 商品組成に携わる事業者が想定する購入層 | 中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方を想定しています。                            |
| パッケージ化の有無           | パッケージ化商品ではありません。   |
| クーリング・オフの有無         | クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。                           |

- （質問）
- ① この商品を購入することと、株式投資をすることでは、どう違いますか。
  - ② この商品は、投資経験・投資知識が豊富であることが必要ですか。
  - ③ 例えば、基準価額が1割下がった場合、必ず連絡をもらえるようなサービスはありますか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

|                  |   |
|------------------|---|
| 損失が生じる<br>リスクの内容 | <価格変動リスク> 株価は、政治・経済情勢、発行体の業績、市場の需給等を反映して、短期的・長期的に大きく変動する。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。 |
|                  | <為替変動リスク> 外貨建て資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、基準価額が下落する要因となります。                     |
|                  | <信用リスク> 有価証券等の発行体が財政難等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことが出来なくなる場合、債券の価格が下落することがあります。          |
|                  | <流動性リスク> 有価証券を売買する際に、需給状況により希望する時期・価格で売買することができなくなることをいいます。                                 |
|                  | <カントリーリスク> 海外の有価証券に投資する場合、投資する国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制、制度変更等による影響を受けることがあり、基準価額が下落する要因となります。   |
| 過去1年間の収益率        | 7.3%（2023年5月末現在の騰落率）  |
| 過去5年間の収益率        | 平均10.2% 最高67.5%（2021年10月末）最低-28.1%（2020年10月末）<br>（2018年6月～2023年5月の各月末における直近1年間の騰落率）         |

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の8ページから9ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の10ページから11ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ④ シャープレシオとは、どのようなものですか。
- ⑤ 投資先が破綻すると、ファンド価格にも大きな影響が発生しますか。

### 3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

(税込)

|                        |             |           |
|------------------------|-------------|-----------|
| 購入時に支払う費用<br>(販売手数料など) | 窓口購入        | インターネット購入 |
|                        | 2.75%       | 1.925%    |
| 継続的に支払う費用<br>(信託報酬など)  | 信託報酬：年1.54% |           |
| 運用成果に応じた費用<br>(成功報酬など) | ありません。      |           |

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の13ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ⑥ 信託報酬とはどのように支払われていますか。
- ⑦ 料率の低いインデックス型の方が、投資家にとっては有利ですか。

### 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還を行う場合があります。

この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料は生じませんが、信託財産留保額として0.3%をご負担いただき、信託財産内に留保します。

証券取引所・外国為替取引の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の13ページに記載しています。

- (質問) ⑧ 繰上償還とは、どのような場合に発生しますか。

### 5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う費用（販売手数料、信託報酬）のうち、組成会社等から0.55%の手数料を頂きます。これは販売時のコンサルティング（販売仲介など）の対価としていただきます。

当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。

「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

(URL) <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- (質問) ⑨ あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。

## 6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の14ページに記載しています。

## 7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前交付書面【目論見書補完書面】  
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>

※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】  
(URL②) <http://www.skam.co.jp/fund/detail/id=32>

※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。

当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



**契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。**



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）

|   | <質問>                                      | <回答例>  |
|---|---|--|
| ① | この商品を購入することと、株式投資をすることでは、どう違いますか。         | 投資信託は、数10の銘柄に分散投資していることがひとつの特徴になります。単一銘柄で、一つの買い値にしばられないことがメリットになります。   |
| ② | この商品は、投資経験・投資知識が豊富であることが必要ですか。            | たしかに、投資対象銘柄に知名度が低いものが多く含まれていますが、仕組み自体は一般的な商品と変わりありませんので、比較的多くの方にご利用いただけます。                                       |
| ③ | 例えば、基準価額が1割下がった場合、必ず連絡をもらえるようなサービスはありますか。 | 申し訳ございませんが、将来まで長期間にわたって、そのような態勢を組むことは困難ですが、当金庫および各社のホームページなどで価格をご自身でチェックいただけます。                                  |
| ④ | シャープレシオとは、どのようなものですか。                     | ファンドの（安全資産に対する超過）リターンを標準偏差で割ることによって求める指標です。つまり、リスク変動幅を考慮したリターン率を求めるものです。   |
| ⑤ | 投資先が破綻すると、ファンド価格にも大きな影響が発生しますか。           | その銘柄を組入れている比率にもよります。仮に、ファンド資金に対して0.5%程度であれば、基準価額1万円に対して50円程度、といった考え方になります。                                       |
| ⑥ | 信託報酬とはどのように支払われていますか。                     | 毎日の基準価額は、この信託報酬の日割り分が控除されて算出されてきます。例えば年1%でも、5年間保有されると5%となる点、ご注意ください。   |
| ⑦ | 料率の低いインデックス型の方が、投資家にとっては有利ですか。            | たしかに購入手数料・信託報酬をみればおっしゃる通りですが、一方で運用成果については、アクティブ型はインデックス型のベンチマークを上回る成果を実現することもあります。ご資金を振り分けて、中期で成果を比較してみる発想もあります。 |
| ⑧ | 繰上償還とは、どのような場合に発生しますか。                    | ファンドの純資産額が著しく減少した場合が想定されますが、ファンド受益者には書面通知されて、総口数の過半数同意があってはじめて、実施されます。   |
| ⑨ | あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。                 | お客様ごとに、資産の状況やライフプランの考え方は異なりますから、一律に同じ商品を推奨することはありませんので、ご安心ください。  |